

福井いきいき会新聞

2022年10月
発行：福井いきいき会：福井市中央1-9-29：0776-28-6464
発行責任者 吉岡副会長

一生勉強 一生感動 一生青春 (第45号)

コロナ感染の第七波は、ようやく終息に向かってきたようですが、八月の当会サークル活動は、開催を見合わせたものが増え、参加者収入が、七月の約七十%に落ち込みました。このような状況が続くと、会の運営に支障が出てくる可能性があります。そこで、感染のリスクの少ないサー

クル活動については、積極的に開催するようにしていただきたいと思えます。



平家平 (大野市)



百歳高齢者表彰状を持つ濱田芳雄さん

濱田芳雄相談役 百歳高齢者表彰を授与される

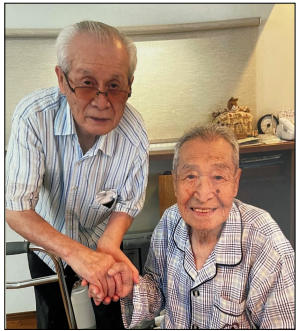
来年の一月十八日に満百歳を迎えられる当会相談役の濱田芳雄さんは、今年度中に百歳を迎えられる高齢者として、題記の総理大臣表彰を受けられました。心からお祝いを申し上げます。濱田相談役には、当新聞に毎回人生訓を投稿していただき、我々高齢者の生きる道を示していただきました。三月に脳梗塞で倒れたので、心配をしていますが、リハビリで体力も

回復され、頭脳は相変わらず明晰であります。今後もお体を十分にこまめに、ご指導をいただけることを願っております。

我々の大先輩 濱田芳雄さん

見事に復活

三月三十日に、突然脳梗塞で倒れられてから約五か月、超越した心身共のご努力により再びお元気になられたご本人にお会いすることができました。濱田さんは来年一月に百歳を迎えられる超高齢者で、我々がお手本とすべき人間の優しさをお持ちですが、今回はさらに仏様のような人間愛に満ちたお顔をしておられましたので、お会いできて私も大変幸せでした。



福井前会長と濱田さん

器を操りながら見事にご自身の足で部屋に入ってこられましたので、思わず万歳と叫びたい気持ちでした。その後別にやつれた様子もなくて、相変わらずいきいき会の高齢化を心配され、動けるうちに好きなことをやっておけよと逆に励まされました。病院からは八月二十三日に退院され、九月二日から在宅医療のシンカイグループでお世話になっておられます。最後に何度も、いきいき会の皆さんにくれぐれもよろしく伝えてほしいと言われましたのでご報告いたします。

福井 康人

合唱サークル

童謡の日のさわやかコンサートに参加

令和四年九月五日(月)のサークル活動で、福井市の童謡の日さわやかコンサートに参加するため、五曲の童謡の合唱をビデオ撮影し、福井市役所の観光文化局文化振興課に提出しました。すでに、参加八チームの童謡の合唱が一市内で活動する童謡愛好団体のハートフルな演奏をお楽しみください」としてオンラインで紹介されています。

当会ホームページのサークル活動実報告書の所に資料を掲載しています。資料を開いて、指示する場所をクリックすると、合唱の動画を視聴することができます。



福井大学

看護学科の学生さんが 当会の活動を見学

童謡の録画を行った合唱サークルに、題記の看護学科の学生さん四人が、当会の活動を見学したいとして参加されました。童謡の合唱とその録画状況を見学されると



もに、参加者全員に、当会のサークル活動に参加している数や、当会に参加するようになったきっかけなどを質問し、会員の答えを聞き、活発な当会活動を素晴らしいと感じを語っていました。

手作りの会で、

蜜蝋を塗った

エコラップを作製

蜜蝋（ミツロウ）は、ミツバチが巣を作る材料として、腹部から分泌するロウのことです。古くからロウソクの原料として使われるほか、木製品や皮製品の艶出し、化粧品材料としても使われてきました。

奥島さん主宰の手づくりの会では、今回、何度も繰り返して

使えるエコ商品として注目をされてきているエコラップを創りました。抗菌性や水性を活か



し食品の保存やラップとして使うことができます。

会員のエッセイ

カラオケ歌の会

増永 一夫

令和三年の秋から始まった新型コロナウイルスの感染が何波も繰り返され、特に今年の夏には大幅に感染が拡大しました。九月には半分に減少したようですが、このまま無事終息を願うばかりです。

毎月恒例のカラオケ歌の会は、福井市のコートダジュールを会場としていきいき会の仲間が集まって盛り上げの会です。最近では男性、女性の皆さん歌うことの楽しさを味わっているようです。

禍のようにならなうちは自分たはどうかしようもな心機一転頑張りとうも、身体



に馴染めず、そんな時にポイントになるのが「気合」のような日常生活で大切なエネルギーを生み出す脳の一部だと思えます。何かを始める際に、もう一息と声を出してみるだけでもエネルギーになります。

私の場合、歌の練習方法は最初何度も繰り返して歌の曲を聴きながら全体の感じをつかみ、壹フレーズずつ音程やタイミングを覚えていき、自分の持ち味を歌の中に活かしていく練習をします。七、八月はコロナ禍で大事をとって安心安全を優先し中止しました。

皆さんの歌を聴いているだけで心が癒されますよ。ただ今カラオケ歌の会の会員を募集中です。

貴重な憲法第九条を

変えてはならない

佐々木晃一

今回は政治的なお話をさせて下さい。昨今憲法第九条を改正してミサイ

ルも持つて敵基地攻撃も可能にするというような物騒な議論がなされているところですが、国の交戦権を否定する九条があればこそ、八十年近く日本は戦争によって他国の

人間を一人も殺さず、他国から一人も殺されてない。これは世界の歴史から見て稀有なこと。平和ボケという言葉もありますが、ボケルほど平和であったことを誇るべきです。相手がジャックナイフで襲ってきたら小刀で対抗する、小刀で襲ってきたら大刀で対抗するなどということを繰り返していったら、軍拡競争は止まることはありません。

二度あることは三度あると申します。最後には神ならぬ身の人間、不測の事態が生じて現在世界が保有する一兆発の核ミサイルの打ち合いとなり、第三次大戦で、奇跡によつて生じた宇宙唯一の知的生命体人間の滅亡です。

相手を武力で制圧しようとするのではなく困難でも不断の外交努力を積み重ねるべきです。

訳の分からぬ国があるのでは無いとの意見もありますが、日本の自衛隊は世界第四位の軍備力を持ち、他国からの侵略への抑止力は十分あると思わ

れます。これは九条の後段にもある通り、交戦権の認められていない集団です。これは他国の人間に発砲することはできません。これは陸海軍のようなものであります。戦力とは言えず、自衛隊は憲法違反ではないのです。

楽しい期待

澤村 玲子

第四十四号（2022年9月）新聞に、令和元年九月創刊第一号から三年半分をまとめて総集編（冊子）として十一月に発刊予定という掲載があった。しかも読みたい記事の検索もできる索引付きでもあるらしい。

毎号くまなく読んで私だが、それらを冊子で読み返せるのはこの上なくありがたい朗報である。現在は、健康面でもまだ車の運転でも支障をきたす不安もないから、丸岡からの外出も特に問題ない。しかしそれらが不可能になる日が必ずや来る。そう思うと晩年期よろず茶屋に足を運び、好きなサークルに参加して多く

の素晴らしいシニアの会
員の方々に相見えたこと
の現実感こそ紛れもない
私自身に最後の社会的足
跡である。

いきいき会にご縁を得
たこと、いきいき会新聞
総集編を手に行けること
は、私が孤独という深い
縁から救出され、ささや
かに生涯現役という思い
に満たされることになる
のだから・・・。我が人
生も捨てたものでないと
振り返りたい。記憶力に
劣等意識濃い私を総集編
が補ってくれるなんと
頼もしい限りの期待では
ないか！

四十四号に至る毎号を、
工夫とご苦労を重ねられ、
さらに総集編の資金の調
達から完成まで並々なら
ぬ情熱を注がれたことに
深い敬意と感謝で、十一
月発刊に楽しい期待を寄
せるものである。

お布施とは

吉岡 芳夫

法事などでお経をあげ
ていただいたお礼にお坊
さんにお布施を差し上げ
る。本来のお布施の意味
は、「施すこと」で、毎

日少しでもいいから善い
ことをする。その善いこ
との中で一番大切なのが
「お布施」だという。月
刊雑誌「なぜ生きる」に、
二千六百年前のインドに
伝わる次のようなエピソードと、お布施の記事が出
ていたので紹介したい。

幼いころ両親を亡くし
た孤児のサーヤ。友達
は、家へ帰れば笑顔で迎えて
くれる両親がいるのに、
自分にはいない。サーヤ
は、大富豪（以下長者）
の屋敷のメイドになった。
ある日一緒に遊んでいた
友達に帰ると、寂しくて
道端に座り込み大きな声
で泣いてしまった。そこ
へ、釈迦の弟子が通りか
かり「どうしたの？夕焼
けがきれいだよ」と声を
かけた。サーヤの話を聞
くと、弟子は、お釈迦様
は、人は皆な独りぼっち
だよと言っておられる。
どうしたらよいかは、釈
迦のお話を聞きに行く
といいよと。サーヤは長
者の許可を得て釈迦の説
法を聴きに行った。
ある日、長者が庭に出
ると、サーヤが大きな桶
をもって「ほらご飯だよ、

ほらお茶だよ」と言っ
て草に水をかけている。理
由を聞くと、茶わんなど
を洗った水を草や虫に施
しているのだという。施
すという言葉に習っ
たのかと聞かれて、サー
ヤはお釈迦様に、施すこ
とは善いことをする中
で一番大切なことで、お
金や財産がなくても、思
いやりの心があれば、七
つの布施ができることを
教わった。孤児の自分
でもできる布施があると
わかつてうれしかったと
いう。

この七つのお布施は、
「雑宝蔵経」に無財の七
施として書かれている。
一、眼施。暖かいまなざ
しで人に接すること
二、和顔悦色施。明るく
優しい微笑をたたえた笑
顔で人に接すること。
三、言辞施。心から優し
い言葉をかけていくこと。
四、身施。人や社会のた
めに働くこと。無償奉仕。
五、心施。ありがたう、
すみませんなど感謝の言
葉を述べること。
六、床座施。場所や席を
譲りあうこと。
七、房舎施。訪ねてくる
人に、一宿一飯の施しを

与え、労をねぎらうこと。
サーヤの行いを見て、
長者も釈迦の教えを聞き
に行くことにした。そし
てお話を聞いて感激し、
それまでの人生を深く反
省、この喜びを多くの
人と分かち合いたいと説
法を聴く場所として精舎
（寺院）の建立したそう
です。

九月の川柳同好会の作品

福井いきいき会でも、
無財の七施をしていこう
ではありませんか。
惜別を語る国王影薄し
定池 徳誠
自画自賛卒寿を過ぎて
「ようやった」
千田 節子
新聞はぼけを遅らす
葉かな
吉岡 芳夫
伸ばしたい健康寿命
100才に
吉田美恵子
仏壇のお菓子一つを
食べました
増永 一夫
土地名義俺だと思えど
居場所なし
田中 秀男

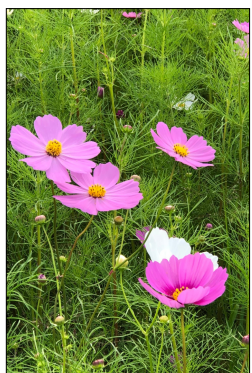
シニアにはカナ文字
世の中生きづらい
松島 成美
驚いた神業凌ぐ
宇良の技
大野 勉

スベったあ！手が
すべったの？いや口が
足るを知るそのこと忘れ
ムダ使い
林 進

無責任極まりないぞ
自民党
上坂 征夫
天高し物価も高し
円安し
南部 歳子

徘徊も本人にとっては
ぶらり旅
新田ヨシエ
爺さんよ落ちたらあの世
松剪定
小坂 武士

三年ぶり花火の音に
駆けてゆく
小林 久子



令和四年

十月の行事予定
例会講演「心ゆたかに」

講師 住職三寄霊証氏

今日、コロナ感染拡大、特效薬が無い不安、戦争による死者、世界経済の困難など、世の中が混濁・迷乱しています。これらは人間の煩惱から起きているので、心次第で人間の生き方が変わります。
「おかげさま」「もったいない」という心豊かな人生を歩んでいきましよう。

映画観賞会

十月はじめ洋画（担当吉

令和4年10月予定表					
日付	曜日	活動場所	開始時間	行事名	
1	土	Aマ	B	13:00	卓話を聴く会
2	日	Aマ			
3	月		B	13:00	合唱サークル (48)
4	火		B	13:00	映画鑑賞会
5	水	市体育館		13:00	ピンポンの会
		B		13:00	経済指標を考える会
6	木		B	13:00	囲碁将棋
7	金	Aマ	ハピリン4F	13:30	芸能クラブ
8	土	Aマ	B	13:00	スマホ勉強会
9	日	Aマ	B	13:00	夜明けの会
10	月		B	10:00	手作りの会
			B	13:00	新聞記事を読む会
11	火		B	13:00	運営委員会
12	水	市体育館		12:00	ピンポンの会
		B		13:00	囲碁将棋
13	木		B	13:00	易しい科学の話
14	金	Aマ	B	13:00	よろず討論会
15	土	Aマ	B	10:00	私の健康法
			B	13:00	川柳同好会
16	日	Aマ			
17	月		B	13:00	短歌の会
		市体育館		13:00	ピンポンの会
18	火		B	10:00	楽しい暮らし方
			B	13:00	映画鑑賞会
		ハピリン4F		13:30	芸能クラブ
19	水	アオッサ6階レクA		13:30	うたのサロン
20	木		B	13:00	囲碁将棋
21	金	Aマ	B	13:00	歴史を楽しむ会
22	土	Aマ			
23	日	Aマ			
24	月		B	13:00	新聞記事を読む会
25	火		B	13:00	音楽鑑賞会
26	水		B	13:00	ネットで世界旅行
27	木	アオッサ706, 707		13:00	例会
28	金	コートダジュール		13:00	カラオケうた会
		Aマ			
29	土	Aマ			
30	日	Aマ			
31	月	別会場		13:00	手作りの会
		市体育館		13:00	ピンポンの会

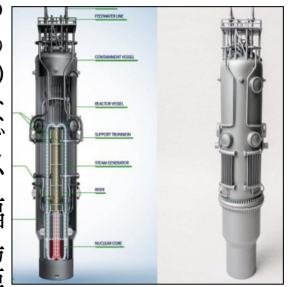
備考(1) Aマは3階A室での麻雀で13:00開始、会費は100円

岡)は「英国王女の秘密の外出」「バルカン超特急」

「逃」地帯」「ラ・ラ・ランド」「ロイヤル・ナイト」が、邦画(担当佐々木氏)は、「幕末太陽伝」「ハそもり」「豚と軍艦」が候補で参加者が上映映画を選びます。

易しい科学の話

「安全性の高い新しい原子力発電とはどんなもの？」
現在の大型原発は、原子炉を停止した後燃料の水冷が必要でした。安全性の高い原発は、小型モジュール化をして工場生産ができるもの、停止後の燃料を自然冷却でき



小型モジュール炉

るものなど、福島第一原発のような燃料溶解事故が起きないタイプになってきます。どんなものかを易しく解説致します。

歴史を楽しむ会
大正天皇、
藤島神社の石段を登る

皇太子であった三十三才時、福井にいられていま

す。しかも六日間も滞在されていきます。そして、五日目藤島神社の石段を登る。お元気に登られ、継体天皇像のある足羽山公園まで登られています。現在のセーレン本社工場の辺りの空き地で、地元の小中学生達が、「ばんざい」という大きな人文字を作っています。

講師：井上清一氏

「ベトナムへ行ってみたい」
インターネット世界旅行

第二回目。ベトナム中部で、白い砂浜が魅力のダナン、歴史的建造物が並びノスタルジックな街並みを今に残す古都ホイアンなど、ベトナム屈指



ホイアンの福建會館

の観光地を見に行きましよう。

新聞記事を読む会
(案内は吉岡副会長)

今月から月に二回開催することにしました。紹介したい記事、議論したい記事がたくさんあるためです。皆で、面白い記事を紹介し合いましよう。